

**おくすりナビ（２０１９年　７月号）**

2年生

医薬品の効き方は

血液に溶けている医薬品の量で決まる！

***＜ 1日3回飲む医薬品の場合 ＞***

**適量より多く飲んだ場合**

昼に飲み忘れたため、

夕に2回分を飲んだ場合

**適量を飲んだ場合**

時間

血液に溶けている医薬品の量

***朝のむ***

***昼のむ***

***夕のむ***

適量より少なく飲んだ場合

**危険な範囲**

血液に溶けている医薬品の量が多い

**効果が得られる範囲**

血液に溶けている医薬品の量が適量

**危険**

**危険**

**効果あり**

**効果あり**

**効果あり**

**効果なし**

**効果が得られない範囲**

血液に溶けている医薬品の量が少ない

**効果なし**

参考： 新編 新しい保健体育（東京出版）

医薬品の効果を得るには、血液に溶けている医薬品の量を適量（　　）に保つ

必要があります。効きそうにないから（　　　）、飲み忘れたから（　　　）と

いって決められた量より多く飲むと危険です。しかし、飲む量が少ない（　　　）と効果は得られません。医薬品の用法・用量は必ず守りましょう。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

作成・発行元

**《 －出張相談会－　 保健室に薬剤師が来ます 》**

おくすりナビの内容、医薬品や健康、薬物乱用など

について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！

**●月●日　　●時●分　～ ●時●分**